

高校生 写真ギャラリー

写真をメールで
送るだけ(^ ^)

冬の部 作品発表

この度は、たくさんの作品をお送りいただき、誠にありがとうございました！撮影者の想いが伝わる作品・コメントと共に、当校講師による講評をご紹介します。

● 講評：佐藤 正浩

株式会社集英社、株式会社マークスタジオなどで勤務。業界の一線で長年の活躍を経て、現在は札幌ビジュアルアーツ写真学科講師を務める。日本写真芸術学会会員



柿原 蓮(石狩翔陽高校 3年)

「移り行くもの」 枯れ木と虹にコントラストを感じました。



講評 すぐに消えてしまう虹と枯れ木のシルエットに「移り行くもの」の切なさを感じます。タイトルがびったりの作品に仕上がっていると思います。



「バランスロック」

海辺を歩いていると絶妙なバランスで静止しているバランスロックを見つけました。

講評 世界には、まだまだ見たことのない風景がたくさんありますね。見たことのない風景、被写体はそれだけで見る者の興味をそそります。岩が人工的なオブジェに見える神秘的な写真です。

谷江 俊輔(札幌あすかぜ高校 3年)

「黄昏の木」

夕焼け時に撮った写真です。

講評 照明を感じさせる時間と枯れた木の季節、彩度を落としている印象からタイトルにある黄昏を感じさせます。力強くもあり、黄昏の切なさもある作品に仕上がっています。



講評 馬の目のアップというインパクトのある作品に仕上がっています。瞳から馬の優しさや人への信頼を感じさせます。



「瞳」
雰囲気を出して撮ってみました。

寺松 萌

(岩見沢農業高校 1年)

「孤独」

道路の真ん中にボツンといました。とても近くで撮影して、一番苦労して撮影した作品です。



講評 コメントに「一番苦労して撮影した作品」とありますが、地面すれすれのローアングルと難しい近接撮影の作品から撮影の苦労を感じます。バックの前後がボケているところが、タイトルの「孤独」を表現できていると思います。

「小さな水しぶき」

小川を撮影した時に水しぶきを撮りたかったので母と共同で撮影した作品です。母が石を投げてくださいました。苦労したぶん良い写真が撮れたと思っています。



講評 こちらも苦労が実った作品に仕上がっています。正確にどこに上がるかわからない水しぶきにしっかりとピントもあっており、高速シャッターで水しぶきの瞬間もしっかりと撮影できています。

春の部 作品募集中！

テーマは自由。フレッシュな感性と創造力に富んだ、写真作品を募集します！

個人でも学校単位でのご応募もお待ちしております。

あなたならではの表現や視点で捉えた作品をどんどん送ってください！

スマホの
作品も
OK!

締め切り **春の部 2017年3月22日(水) 必着**

発表 **Scene北海道誌上**(春号、2017年4月26日発行予定)、
また、札幌ビジュアルアーツのwebサイトにも掲載予定。

応募方法 応募用メールアドレス(photo@hag.ac.jp)に指定のを入力し、作品データを添付してください。

詳細情報



応募用



詳細情報アドレス http://www.visualarts.ac.jp/top/?page_id=5700

学校法人 北海道安達学園(文部科学大臣認定・職業実践専門課程設置校)

専門学校札幌ビジュアルアーツ

〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目3-12

応募に関するお問い合わせ先

TEL.011-205-7600